

工 事 名 ：矢野地区下水道築造7－6号工事

工事場所：安芸区矢野東二丁目

積算参考資料

(注) (この資料は、入札参加者の的確な見積りに資するために、発注者が用いた積算資料を参考として提示するもので、請負契約上拘束力を生じるものではなく、誤謬または契約後の条件変化による場合を除き、契約上の変更対象となりません。)

広島市安芸区役所農林建設部地域整備課

積算参考資料

（この資料は、入札参加者の的確な見積りに資するために、発注者が用いた積算資料を参考として提示するもので、請負契約上拘束力を生じるものではなく、誤謬または契約後の条件変化による場合を除き、契約上の変更対象となりません。）

提 示 項 目	提 示 事 項						
週休2日関係	「設計業務委託等技術者単価」は労務費の補正対象としない。						
見積単価	見積単価については、別添「見積単価一覧表」のとおり。単価は週休2日工事の補正がかかる前の単価である。 「見積単価一覧表」の資源区分『労務費』及び『機械賃料（2DaW）』は週休2日工事の補正がかかる単価である。それ以外の資源区分については、週休2日工事の補正がかからない単価である。						
モルタル練（1：2）の施工単価について	以下の施工単価については、「モルタル練（1：2）」を使用している。 ・モルタル上塗り（配合 1:2） 「モルタル練（1：2）」については、土木工事標準積算基準書（令和4年8月）第Ⅱ編 第4章 1）コンクリート工の「4-2 モルタル練（1：2）」を適用する。 なお、標準単価及び積算単価等の適用については、以下のとおりとする。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th><th style="width: 70%;">適用</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標準単価等</td><td> ・令和4年度施工パッケージ型積算方式標準単価表 広島市 ・代表材料規格等の基準単価作成方法について（令和4年度8月適用分） </td></tr> <tr> <td>積算単価</td><td> ・該当する積算地区・積算年月 </td></tr> </tbody> </table>	項目	適用	標準単価等	・令和4年度施工パッケージ型積算方式標準単価表 広島市 ・代表材料規格等の基準単価作成方法について（令和4年度8月適用分）	積算単価	・該当する積算地区・積算年月
項目	適用						
標準単価等	・令和4年度施工パッケージ型積算方式標準単価表 広島市 ・代表材料規格等の基準単価作成方法について（令和4年度8月適用分）						
積算単価	・該当する積算地区・積算年月						

月単位の週休2日工事に係る積算について

本工事は、月単位（4週間の期間内）で振替日の設定を行う「月単位の週休2日工事」であるため、以下の方法で積算を行っている。

「広島市週休2日工事等試行要領（土木工事）」により当初設計から月単位で4週8休以上であった場合の補正係数を乗じている。

なお、補正係数については以下のとおりとする。

【労務費：1.04】（設計業務委託等技術者単価は除く）

【機械経費（賃料）：1.02】

【共通仮設費率：1.03】

【現場管理費率：1.05】

市場単価（港湾工事は除く）

試行要領の別表1、2参照

土木工事標準単価

試行要領の別表3参照

※ 月単位で4週8休に満たなかった場合、現場閉所状況に応じ、補正係数を減じた変更を行う。

「週休2日交替制工事」の実施を希望する場合、契約締結後7日以内に、「週休2日交替制工事」の実施を希望する旨を発注者に書面で提出すること。

受理されれば、「広島市週休2日工事等試行要領（土木工事）」により「週休2日交替制工事」の補正係数により変更を行う。

なお、月単位の「週休2日交替制工事」補正係数については以下のとおりとする。

【労務費：1.04】（設計業務委託等技術者単価は除く）

【現場管理費率：1.03】

市場単価（港湾工事は除く）

試行要領の別表1、2参照

土木工事標準単価

試行要領の別表3参照

※ 月単位で4週8休に満たなかった場合、休日の取得状況に応じ、補正係数を減じた変更を行う。

見 積 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TA0003	自由勾配側溝（横断用） 300×500×1000	個	R0704	38,400	材料単価	全間接費の 対象	
TA0006	自由勾配側溝（暗渠型加工費込み） 300×300 L=1500未満	個	R0704	40,700	材料単価	全間接費の 対象	
TA0010	自由勾配側溝（暗渠型加工費込み） 300×400 L=2000未満	個	R0704	51,500	材料単価	全間接費の 対象	
TA0011	自由勾配側溝（暗渠型加工費込み） 300×500 L=1000未満	個	R0704	51,200	材料単価	全間接費の 対象	
TA0012	自由勾配側溝（暗渠型加工費込み） 300×500 L=1500未満	個	R0704	54,600	材料単価	全間接費の 対象	
TA0013	自由勾配側溝（暗渠型加工費込み） 300×500 L=2000未満	個	R0704	58,000	材料単価	全間接費の 対象	
TA0014	自由勾配側溝（縦断用） 300×500×1000	個	R0704	14,100	材料単価	全間接費の 対象	
TA0015	既設マンホール削孔（組立1号） Φ200用	箇所	R0704	8,115	その他施 工単価等	全間接費の 対象	
TA0016	廃プラスチック処分費	m3	R0704	8,050	仮設材単 価等	処分費など の対象	
TA0017	水路削孔（自由勾配側溝） Φ150用	箇所	R0704	6,820	その他施 工単価等	全間接費の 対象	
TA1001	グレーチング蓋 L=1.0m（T-25細目ボルト固定）	枚	R0704	49,000	材料単価	全間接費の 対象	
TA1002	グレーチング蓋 L=0.5m（T-25細目ボルト固定）	枚	R0704	36,700	材料単価	全間接費の 対象	
TA1007	プレキャスト集水枳 R-2	基	R0704	120,000	材料単価	全間接費の 対象	
TA1008	プレキャスト集水枳 R-3	基	R0704	72,700	材料単価	全間接費の 対象	